はじめに

本講座は、**国公立大二次試験**の最近の過去問を扱っています。国公立の二次試験は、問題数や選択肢問題が私大と比べて少なく、**記述中心**で構成されます。**「現代語訳」**の問題はほとんどの大学で出題されており、あとは、**理由・心情・内容などの説明問題**も頻出です。これらを全十二回で取り組んでいきましょう。

一部の私大のように傍線部のみで解ける問題はほぼなく、本文全体を踏まえた上での解答を求める大学も多いので、**全文の主旨**を把握できなければいけません。

和歌の解釈も頻出で、一番狙われる修辞技法はやはりアレですね（きっとわかった人もいるかとは思いますが、「は？何？」って思った人も講義中にちゃんと説明しますので安心してくださいネ）。

あとは、「作品常識」として特に知っておくべき**「日記」**を第七講で紹介しています。

そして、入試頻出の『**源氏物語**』。こちらはある程度「人物関係」を知っているほうが確実に有利です。もちろんみなさんが受験する大学の全てで『源氏物語』が出題されるかどうかのお約束なんてできませんが、万一、出題された時に人物関係をわかっていないと、読解する上でかなり難しい文章もあるのは事実です。市販でマンガ化されていますので、たとえば、受験勉強の休憩のつもりでそれらのマンガを読むのも一つの方法です。が、せっかくこの講座を受講してくれたのだから、この講座内で一応完結できるように、第八講で補足として主な登場人物の人物関係図と、五四帖分のあらすじを載せましたので、是非利用してください。

なお、この講座を受講するには、基本的な単語や文法、古文常識、読解ルールなどはわかっていることを前提とします。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

予復習・授業の受け方について

全ての講において、動画を見る前に該当講の予習をしてください。もちろん、本文をノートに写すとか不要です。このテキストに直接書き込んでかまいません。辞書を使わずに自力で解ききってください。

記述問題が多いので、最初は何を書いていいかわからず白紙にしてしまう人が多いのですが、**「自分で書く」ということをしないと記述力は養えません。**間違ってもかまいません。拙い日本語だろうがそんなことは気にしなくていいです。さらに、最初は時間制限なんて気にせず、どれだけかかったってかまいません。「とにかく自力で何かは書く」を、最初は目指してください。

予習が終われば、なるべく時間をあけずに該当講の動画を見てください。時間が経ってしまうと、せっかく予習をしたのに、どんな話だったか、どうしてその解答にしたのか忘れてしまうので、覚えている間に見ることが重要です。

あらかじめ板書している本文に、書き込みをしながら授業を進めていきます。私が黒板に書くことを、みなさんもテキストの本文に同じように（色は何色でも、一色でもかまいません）どんどん書き込んでください。先に自分で本文中に必要な印や記号がどんどん付けられる人は、自分が予習の段階で書いたものと、私が書いているものが同じかどうかという目線で動画を見るようにしてください。

講義を見終えたら、復習を必ずしましょう。みなさんのレベルだと、おそらく文法事項や単語は身についていると思いますので、特に記述問題の復習がメインになるはずです。自分が予習の時に書いた解答と、模範解答を見比べて、何が不足していたのか、どこがおかしかったのかをしっかり確認してください。そして、例えば、意味は同じようなことだけど、自分が書いたものよりも良い言い回しがあれば、その言葉を自分の中にストックしていくのです。そうしていくと、より模範解答に近い解答が書けるようになっていきます。ちなみに「復習問題」は構成上、選択肢問題ということなので記述の問題が入れられず、よって、主に単語の意味や文法事項の確認になってしまいますが、「念のための確認」として使ってください。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目次

第一講『宇治物語』…… p. 4
第二講『玉勝間』…… p. 9
第三講『吾妻鏡』…… p. 16
第四講『古今著聞集』…… p. 22
第五講『平家物語』…… p. 29
第六講『とはずがたり』…… p. 36
第七講『讃岐典侍日記』…… p. 43
第八講『源氏物語』〈幻〉…… p. 53
第九講『源氏物語』〈宿木〉…… p. 72
第十講『苔の衣』…… p. 78
第十一講『今鏡』…… p. 88
第十二講『保元物語』…… p. 95

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講『宇治物語』

次の文章は、若い少将が、父大納言には隠したまま、いとこの姫君と関係を結んでいたところ、関白（おとど）から大納言に、別の申し出があるという場面である。これを読んで、後の問いに答えよ。

その頃、関白殿、この少将を婿（むこ）がねにと月ごろ心ざし給ひ、内裏（うち）参りのついでに参り給ひて、いにしへ今の物語など聞こえ給うて、「かかること申し出づるはかたはらいたきことながら、(1)姫のあやしきをものし侍れど、いまださるべきよすがなくて、心苦しくなむ覚え侍る。少将の、生ひ先たのもしげなる人にてあめるを、あづけ聞こえて、(2)心やすく世をも思ひ離ればやとなむ思ふ」とのたまは[a]す。大納言、いとかたじけなく、よろこびかしこまりて、「これに過ぎたる面目（めいぼく）やさぶらふべき。ただとく仰せに従ふべきなり」と、うけひき申し給ふ。おとどはかかること聞こえ定めつるを心やすく思して、夜ふけぬれば帰り給ふ。

明くれば、大納言、少将を御招きありて、「おとど、ただ一人かしづか[b]るらむ姫のいはけなきを、いと捨てがたく、そこに譲りてむとのたまひつるほどに、いなび申しがたく、「かしこまり侍る」と申せしなり。よき日して、御消息など

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(3)ほのめかし給へ」と聞こえ給へば、少将とみに物も言は(c)れ給はず。さしうつむきて胸つとふたがり、(4)いかさまにしてこのこと思しとまるわざもがな、と人知れず嘆かれ給ひつつ、わづらはしくて立ち給ひ、その夜はうち臥して明かし給ひ、さまざま思し乱る。姫の、何心もなくておはするに、このことかくと聞き給はば、いかに思すらむ、さすがにあさはかにもあらぬ心ばへ、ありさまのほど思ふに、いとど心苦しくて、「心地いとなやまし」とて臥してのみおはし給ふ。大納言より御使ひありて、「はやはや御消息ものし給へ。心に入らぬこととても、聞き過ぐしてやむべきならず」とのたまふものから、そむきがたければ御文奉れ給ふ。

逢ふまでのその行く末はまだ知らず思ひそむるぞ契りなりける

と書い給うて、人召して奉らせ給ふ。

（『宇治物語』による）

注

○婿がね――婿候補。

○姫の、何心もなくておはする――少将がひそかに関係を結んでいる姫君を指す。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線（1）を、「ものし」の意味を明らかにしつつ現代語訳せよ。

問二　傍線（2）を、適切に言葉を補いつつ現代語訳せよ。

問三　傍線（3）の「ほのめかす」とは、どういう「消息」を書くことが期待されているのか。説明せよ。

問四　傍線（4）を現代語訳せよ。

問五　二重傍線ａ～ｃについて、文法的に説明せよ。

a＝

b＝

c＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　復習問題

①「これゆゑそむくべきうき世なりけり」の解釈として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　こういうことがあるから世の中はよくならないのだ。
イ　これをきっかけに世の中をよくしていこう。
ウ　これをきっかけに出家してしまおう。
エ　こういうことがあっても恋はあきらめない。

②「はぎ取らばや」の解釈として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　はぎ取ってやろう　　イ　はぎ取りたいものだ
ウ　はぎ取れるだろうか　　エ　はぎ取れるはずがない

③「かしづき給ふことかぎりなし」の解釈として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　心配事が尽きることがない　　イ　繰り返し褒め言葉をかけている
ウ　限りなく呆れ果てている　　エ　いつも困惑しつつ嘆いている
オ　奥ゆかしく並々でなく大切にしている

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　次の傍線部の文法上の意味は何か。後の中から最も適当なものを選べ。

佐理大弐（すけまさのだいに）、世の手書の上手。任はてて上（のぼ）られけるに、伊予国の前（まへ）なる泊（と）まりにて、…

ア　自発　　イ　受身　　ウ　可能　　エ　尊敬

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

模範解答

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　模範解答

問一　ふつつかな娘を私は（大切に）育てていますが
問二　娘の将来のことを安心して私は出家したい
問三　関白の娘をぜひ妻にしたいということをそれとなく示す手紙（を書くこと）
問四　なんとかして関白が娘との縁談を思いとどまりなさる方法があればなあ
問五　a　尊敬語の本動詞サ行下二段活用「のたまはす」の終止形の活用語尾
b　尊敬の助動詞「る」の終止形
c　可能の助動詞「る」の連用形

〈現代語訳〉

その頃、関白殿が、「この少将を婿候補に」と数か月来心に決めなさり、参内のついでに（大納言邸に）参上なさって、昔や今の話などを申し上げなさって、「このようなことを申し出るのは恥ずかしいことだが、ふつつかな姫〔＝娘〕を（私は）育てていますが、まだ適当な縁が無くて、気がかりに思われます。少将が、将来を期待できる人であるようなので、（娘を少将と）結婚させ申し上げて、（娘の将来のことを）安心して（私は）出家したいと思う」とおっしゃる。大納言が、たいそうもったいなく、喜び恐縮して、「これ以上の面目がございましょうか。ただすぐに仰せに従うつもりである」と、承諾申し上げなさる。関白殿はこのようなことを申し上げ決めたことを安心なさって、夜が更けたのでお帰りになった。

明けたので〔＝翌日〕、大納言は、少将をお招きになって、「関白殿が、ただ一人大切に育てていらっしゃるという姫でまだ世慣れていない姫を、たいそう見捨てがたく、お前と結婚させようとおっしゃるので、辞退申し上げにくく、『謹んで承ります』と申し上げたのである。良い日を選んで、（求婚の）お手紙などそれとなく書きなさいませ」と申し上げなさるので、少将は急にはなにも言うことがおできにならない。（少将は）うつむいて胸がつまって、なんとかして（関白殿が）このこと〔＝娘との縁談〕を思いとどまりなさる方法があればなあ、と人知れずお嘆きにならないではいられないで、いやになって立ちなさり、そ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

の夜はちょっと横になって夜をお明かしになり、様々思い乱れていらっしゃる。いとこの姫君が、何も知らずにいらっしゃるのに、このこと〔＝縁談〕をこうだと聞きなさったならば、どのようにお思いになるだろう、そうは言ってもやはり愛情の浅くない気持ち、様子のほどを思うと、ますます苦しくて、「気分がたいへんすぐれない」と言って臥してばかりいらっしゃる。

大納言からお使いがあって、「早くお手紙を書きなさいませ。気乗りしないことだとしても、聞き流して済ませられることではない」とおっしゃるので、（少将は）さからうこともできないのでお手紙をお送り申し上げなさる。

逢ふまでの……＝逢うまでのこれから先のことはまだわかりません（が）、（あなたを）恋しく思いはじめたのは前世からの因縁であることだなあ。

と書きなさって、人をお呼びになりお送り申し上げさせなさる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔重要単語〕　※「敬語」の「重要単語」は文法講座で既出のため、省いています。（第二講以降も同様。）

○つきごろ【月頃】…**数か月来**。
○かたはらいたし【傍ら痛し】…①**みっともない**。　②**気の毒だ**。　③**恥ずかしい**。
○あやし【怪し・奇し・異し】…**不思議だ**。
　　【賤し】…**粗末だ**。**身分が低い**。
○ものす【物す】…①ある。いる。　②いろいろな動詞の代わりに用いる。
○さるべき【然るべき】…①適当な。　②そうなるはずである。　③立派な。
○よすが【縁・因・便】…①**手段**。　②**ゆかり**。　③夫・妻などたよりとする相手。
○こころやすし【心安し】…①**安心だ**。　②親しい。　③簡単だ。
○かたじけなし【辱し】…①**恥ずかしい**。　②**もったいない**。　③ありがたい。
○とし【疾し】…①（時期が）**早い**。　②（速度が）**速い**。
○かしづく【傅く】…①**大切に育てる**。　②**大切に世話をする**。
○いはけなし【稚けなし】…**子どもっぽい**。
○せうそこ【消息】…①**手紙**。　②訪れること。
○とみなり【頓なり】…**急なこと**。
○さすがに…**そうはいってもやはり**。
○いとど…①**ますます**。　②そのうえさらに。
○ちぎり【契り】…①前世からの**約束**。　②**因縁**。**男女・夫婦の縁**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答解説

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第一講　解答解説

〔解説〕

①「（憂き）**世を背く**」は、「**出家する**」ということ。本設問は「そむくべきうき世」となっているが、同じこと。よって、正解はウ。

②「**未然形＋ばや〈文末〉**」は、**自己願望の終助詞**「〜たい」。よって、正解はイ。

③「かしづく」は、重要単語で「大切に育てる・大切に世話をする」の意味。その意味がとれるのはオのみ。よって、正解はオ。

④「〜に」がないので、受身ではない。下に打消の語がないので、可能でもない。上が心情動詞、知覚動詞ではないため、自発も違う。したがって、尊敬のはず。訳して確認してもおかしくない。よって、正解はエ。

〔解答〕

①ウ　②イ　③オ　④エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。